

実践的災害医療ロジスティクス専門家の養成

—災害全時相・多職種連携を熟知し、かつ専門的業務調整力を備えた
災害医療ロジスティクス専門家養成カリキュラムの普及—

課題

「災害における医療の質の向上と組織間マネジメント」に精通する多職種災害医療人材教育が充実してきた（H26-H30文部科学省GP新潟大学事業他）。一方で東日本大震災、熊本地震など近年の経験を通じて**人的・物的供給体制を確立するための災害医療ロジスティクス（後方支援・業務調整）の重要性が認識され、各職種でロジスティクス専門家認定制度が模索・開始されつつある。**しかし、災害医療ロジスティクス専門家を**認定制度と連携して組織横断的かつ系統的に養成する機会**は現在わが国では提供されていない。後方視的に過去の学習・経験に基づき認定する現行の認定制度に加え、**前方視的に専門家認定制度（キャリアパス）と連動し、かつ職種別の現行制度で対応できない職種横断的ロジスティクスも学べる質の高い標準化された災害医療ロジスティクス専門家養成モデルプログラムの確立・普及**が災害医療教育における喫緊の課題である。

解決策

災害医療ロジスティクス専門家養成モデルプログラムを確立し全国に普及します

- 1) 災害医療ロジスティクス専門家育成の系統的学習プログラムを提供
- 2) e-learningシステムを利用した全国で学習しやすい環境の整備
- 3) 職種横断的災害医療ロジスティクスの基本学習+専門性「医師」「歯科医師」「看護師/保健師」「薬剤師」「OT/PT」「心理士」等専門性を活かした業務調整を学習
- 4) 履修証明プログラム+大学院修士課程でキャリア支援
- 5) 認定資格取得支援 学会・職域団体の災害医療ロジスティック認定制度との連携
- 6) プロバイダー・ライセンス取得にも対応 単独コンテンツ（セミナー・e-learning）の受講に対応

連携・協力

新潟大学
医学部災害医療教育センター
災害・復興科学研究所
新潟医療人育成センター
大学院医歯学総合研究科
医歯学総合病院
歯学部・医学部保健学科
情報基盤センター

新潟県
福祉保健部
新潟県医師会
新潟薬科大学
新潟医療福祉大学
県リハビリテーション協議会
県薬剤師会

日本災害医学会
国立病院機構災害医療センター
兵庫県災害医療センター
日本DMAT事務局・福島復興支援室
日本赤十字社医療センター
国立健康・栄養研究所
神奈川歯科大学・神戸学院大学
上益城郡医師会 ほか

強力な実施体制

普及

- ① e-learningコンテンツのライブラリ配信
災害医療ロジスティクスのE-learningコンテンツと履修管理のシステムを全国の研修実施機関に提供
→全国の災害ロジスティクス関連**研修の支援と共通の研修内容の普及**
- ② 認定制度と連携したプログラム・セミナーの提供
災害医療ロジスティクス専門家の資格取得を目指す社会人のライフスタイルに合わせた受講形態を提供→全国へ向けたキャリア支援

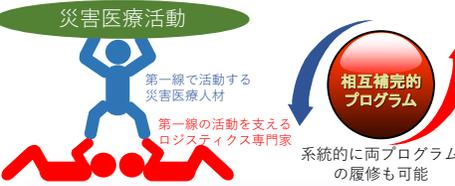
新潟大学から全国へ配信!
教育資源（教材・講義）の共有・ライブラリ化により、全国の人材育成に寄与
→日本の災害医療教材の共通資源へ。



課題解決型高度医療人材養成プログラム（H26-H30）採択事業
「震災～復興まで支援する災害医療人材の養成」
→災害全時相を途切れなく、かつ職種横断的に連携を可能とする。災害現場の**第一線で活動できる災害医療人材の養成。**
H31年度以降も自立的に事業継続

ロジスティクス専門家による後方支援

2年間 専門科目 共通科目	口腔ケア (医師・歯科医師・歯科衛生士・OT/PT/ST)	生活不活発病 (医師・看護師・OT/PT)	心のケア (医師・看護師・公認心理士・精神保健福祉士)	災害薬事 (医師・薬剤師・行政職)	看護・保健 (医師・看護師・保健師・栄養士・行政職)	社会人大学院修士課程 (災害医学・災害ロジスティクス) 対象：歯科医師・看護師・薬剤師ほか災害医療に関わる職種かつ災害医療ロジスティクス関連研究の志望者	プロバイダーコース (各種セミナー・コンテンツの受講) 対象：受講生は履修生、大学院生に限定しない。個別の講座受講、プロバイダー取得、認定制度ポイントのための受講など幅広く対応
	災害医療ロジスティクス「共通科目」 (全職種共通で履修する科目)						
	履修証明プログラム		e-Learning（共通科目50時間+専門科目20時間）+研修会等50時間		大学院	資格支援	



課題解決型高度医療人材養成プログラム（H30-H34）申請事業
「実践的災害医療ロジスティクス専門家の養成」
→災害現場の第一線で医療・保健・福祉を実施する活動を「**後方支援・業務調整**」し、**円滑な支援の実施を可能とする専門家の養成。**

参照資料 公募要領「申請対象となる事業」
：新たに実施する教育プログラム・コースを開発するもの（これまで実施していた教育プログラム・コースを発展的に改変・拡充する場合を含む）。

認定制度と連携

履修証明プログラム・大学院に加え、認定災害医療ロジスティクス制度、災害医療認定薬剤師制度、災害看護専門看護師、社会医学系専門医制度などの新規災害関連資格（制度）と連動・連携（ポイント付与・単位互換・認定要件など）した教育内容・コンテンツの提供により、幅広いキャリア支援を実現。それぞれの認定制度設計担当者・制度委員の参画による実施体制を確立。

国際協力と実績

JICA（国際協力機構）の災害医療教育関連プロジェクトに参画。ASEAN地域への災害医療教育へ寄与。本プログラム担当教官＝JDR（国際緊急援助隊）医療班隊員養成研修指導責任者として豊富な海外派遣経験実績。中越地震・中越沖地震の経験+東日本大震災（宮古・石巻）熊本地震（益城町災害医療本部支援担当）など日本の震災における豊富なロジスティクス実経験。H26年より実施の文部科学省GP中間評価においてA評価（全26事業S評価1件 A評価3件 B評価20件 C評価2件）→十分な実施体制と協力体制の確立・豊富な実績と国内・海外への発信力。